

2. 審査項目シート

【代表的な活動事例】

※申請書提出後、レベル6認定審査のための面接試験を実施いたします。その参考として活動プロフィールに記載した活動のうち食Pro. レベル6の人物像に鑑み、ご自身で相応しいとご判断される活動や取組について2つまでを選択していただき、その概略をご記入ください。

レベル6の人物像は、以下の通りです。

『自身の活動や取組が地域に根差して持続・成長・波及をもたらすとともに、その成功をもって次世代への継承を促し、当該領域において広く認知されるなど、本制度の最高段位者としてふさわしい人物。』

【ご記入にあたっての注意事項（必ずお読みください）】

注意：ご記入はすべて整理された文章や簡条書きで行ってください。以下、申請書全体にわたり図表の挿入は行わないでください。

(1) ご自身の能力や実績を示す代表的な活動名（地域）	・活動名（仮題でも可）のみをご記入ください。※活動プロフィールに記載した事項のコピーで結構です。
(2) 活動事例の概略	・特に力を入れた点をご記入ください。
(3) 活動の経緯	○自身の関わった時期： 年 月～ 年 月

(4) 活動に対する自身の役割と連携相手・実施体制

○自身の役割

○活動の連携相手と実施体制

【個人の能力及び実績】

下記に示した評価指標を参考に、事例や実績等について該当する内容を簡潔にわかりやすい文章で記載してください。

*** 目安は評価指標ごとに 400 文字以内**

レベル6の人物像は、以下の通りです。

『自身の活動や取組が地域に根差して持続・成長・波及をもたらすとともに、その成功をもって次世代への継承を促し、当該領域において広く認知されるなど、本制度の最高段位者としてふさわしい人物。』

① 理念とビジョン	当該領域に係る高い志と理念とビジョンをもって活動していること。理念やビジョンなど、レベル6人物像（上記参照）にふさわしいと判断できる内容を記載してください。
	〔記入欄〕
② 持続と成長	関連する内容が確認できる公開情報や著作物（ホームページの URL、執筆物の名称等）などを記載してください。
	〔記入欄〕
③ 波及効果	地域に根差した事業に継続的に関わり、自らがプロデュースした事業が成長拡大している事例について記載してください。実績については、別添の「実績記入シート」にご記入ください。
	〔記入欄〕
④ 後続育成	自らがプロデュースした事業が、地域活性化につながる新たな活動や事業として創出され、かつ広域的に拡大しているなど、波及効果を創出した事例について記載してください。
	〔記入欄〕
⑤ 次の展開	後継者や継承者などを育成することに加え、自らの活動や取組に影響を受けた者が次世代のプロとして実績をあげている事例を記載してください。
	〔記入欄〕
⑥ 次の展開	「プロとして活躍している後継者や継承者等の人数（合計数）および代表的な取組内容とその売り上げ実績」について、具体的に記載してください。関連する内容が確認できる公開情報（ホームページの URL）などがあれば併せて記載してください。
	〔記入欄〕
⑦ 次の展開	5年後程度において新たなビジネスモデルを構想・構築し、それに向けた具体的な取り組みに着手している場合、その内容について記載してください。
	〔記入欄〕

実績記入シート

-ご注意事項- ■ 申請書「②持続と成長」に記載した事例の実績について、下記の表の項目に従い内容をご記入ください。 ■ なお、 <u>ご記入いただきました事業者様等につきましても、認定審査段階で内容確認のためのご連絡をさせていただく場合がございます。</u> あらかじめご了解願います。		申請者ID					
		(ふりがな) お名前	()				
以下の箇所については、①生産者や事業者の方の場合、ご自身および連携された相手の内容について記入してください。②コンサルタントなど主にコーディネートを行った実績の場合には、その支援業務により発生した実績について各事業者等へのヒアリングを行い、その結果を記載していただき、実績との関わりやコーディネートの実施年数、受益者とのコンサルティング契約の有無などについて「その他の事項」欄にご記入ください。							
区分	事業者名	所在地 (市町村までで 結構です)	TEL	時期	当該事項で 創出した雇 用者数	当該事項で創 出した売上高	
生産者	〇〇〇〇	東京都港区	00-0000-0000	○年度 ○年度	00名 00名	000万円 000万円	
製造業者							
流通業者							
その他							
その他の事項		分かりやすい文章で記載してください。					

注意：認定審査の面接時には、実績記入シートに記載した評価指標②に係る売上高等の根拠となる資料等をご用意ください。
 ①。資料の有無は認定審査時の評価対象（加点・減点要素）とさせていただきます。